

株主通信

2022年3月1日▶2022年8月31日



顧客支持NO.1の都市型スーパーセンターへの挑戦



株式会社スーパーバリュー
<https://www.supervalue.jp/>

証券コード:3094

株主の皆様へ

To Our Shareholder

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年になっても、新型コロナウイルスの感染が収まらず、オミクロン株の第7波による感染者が、7月・8月にかけて一気に拡大いたしました。

当社におきましても、多くの店舗で従業員の感染者が増えるとともに、家庭内や学校内からの濃厚接触者がそれ以上に増えたため、一時的に休職者の数が増え、お客様に満足のいくサービスが行き届かないケースもございました。ただ、常日頃より体調不良者の報告を社内携帯で情報共有しており、早めの退社・早めの消毒を徹底し、本社本部や近隣店の応援も行いながら、何とか休業することなくお客様に安心して買い物ができる環境を作ることができました。ひとえに株主様、お客様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

当社は、8月23日の臨時株主総会に於いて、株式会社

ロピア・ホールディングスを引受人として第三者割当増資を行い、株式会社ロピア・ホールディングが親会社となりました。今後はお互いの強みを融合させ、業績の改善に努めてまいります。

下期につきましても、お客様及び従業員の安全確保を第一に経営努力をしております。

アフターコロナ社会の中で「ニューノーマル」に対応できる新たな改革を株式会社ロピア・ホールディングスと模索・実行し全従業員が一丸となって業務改善へ向け努力をしております。

株主の皆様には、これからも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月



代表取締役執行役員社長

岸本 圭司

経営理念

顧客支持 No.1 店舗の拡大と維持

モットー

- お客様第一主義の徹底
- よい商品をより安く
- 顧客満足度の高いサービスの提供

企業理念

- 生活に豊かさと利便性をもたらす店舗展開による地域社会への貢献
- コンプライアンスの徹底およびCSR(企業の社会的責任)への取り組み
- ステークホルダー(顧客・株主・取引先・従業員)への利益還元

店舗展開 (2022年11月1日現在)

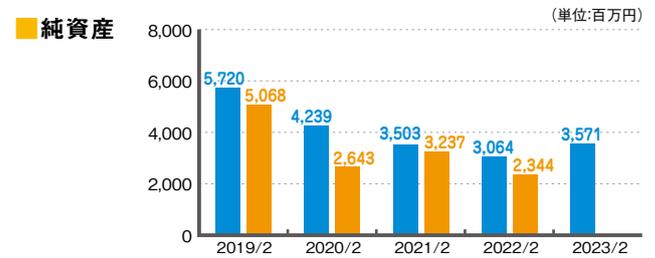
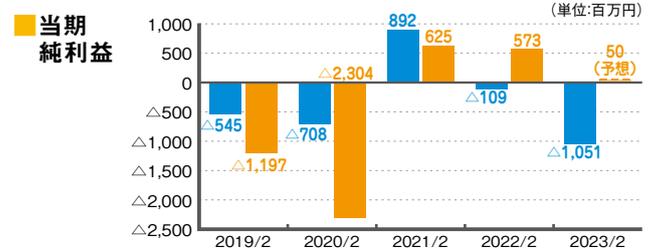
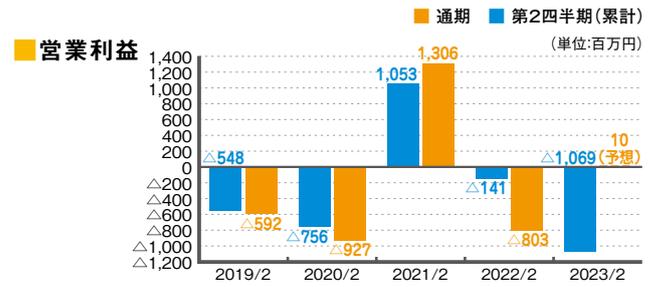
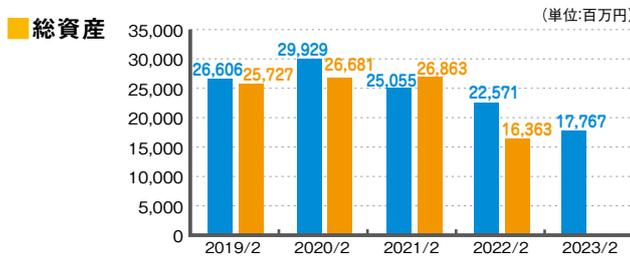
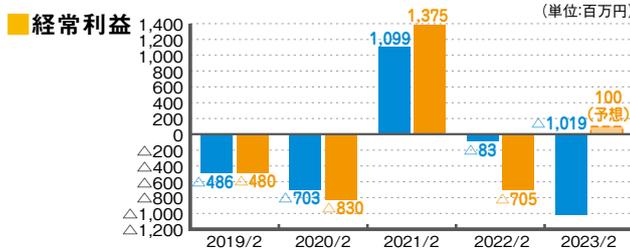
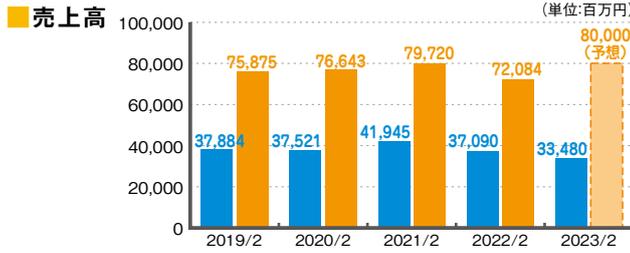
34店舗 ▶ 埼玉県 19店舗 東京都 12店舗
千葉県 3店舗



- 都市型スーパーセンター (SM+HC複合店) 10店舗
- 食品スーパー (SM) 23店舗
- 卸売パワーセンター 1店舗

決算情報

Financial Highlights



■営業概況

当第2四半期累計期間におきましては、3月下旬にかけて新型コロナウイルス感染症の拡大が一服し、経済活動の正常化の動きがみられましたが、7月以降感染が急拡大する中で、ロシアによるウクライナ侵攻による世界的なインフレ、日米の金利差の拡大による円安の進行、エネルギーコストの上昇によるインフラコストの増加、食品でも多くの品目の値上げが続き、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、他業種も含めた価格競争に加え、光熱費の上昇、エッセンシャルワーカーの人手不足、食品メーカーの相次ぐ値上げによる販売価格への転換、記録的な高温・大雨、消費者の低価格・節約志向の高まり等でこれまで以上に厳しい経営環境が続いております。

売上については、会員カード特典の即日値引きを5月中旬に中止、クレジット決済も含めたポイント付与に変更し、さらに中止していたチラシも再開いたしました。しかしながら競合他社との価格競争、販売価格のコントロール不足、さらには、第1四半期会計期間の期首より適用している「収益認識に関する会計基準」等の影響も加わり、売上高は前年同期比90.3%となりました。

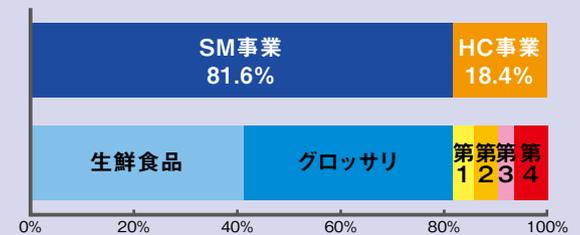
利益面では、仕入れ先の見直しをはじめ、販売商品の改廃や在庫の適正化、値引ロス・廃棄ロスの削減により利益改善を進めてまいりましたが、原材料不足や原材料価格及び仕入価格の上昇もあり、売上総利益率は前年同期比で1.6ポイント下回る19.8%となりました。

経費面では、光熱費等は高騰しましたが、店舗オペレーションの見直しによる作業効率の改善と標準化を進め、徹底した経費削減の取り組みにより販売費および一般管理費は前年同期比95.8%となりました。

以上の結果、売上高は334億80百万円（前年同期比9.7%減）、営業損失は10億69百万円（前年同期は営業損失1億41百万円）、経常損失は10億19百万円（前年同期は経常損失83百万円）、四半期純損失は10億51百万円（前年同期は四半期純損失1億9百万円）となりました。

当社の事業セグメントは、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであります。販売商品別の売上高は、生鮮・グロッサリのSM販売商品は273億17百万円（前年同期比91.6%）、ホームセンターのHC販売商品は61億62百万円（前年同期比84.6%）であります。

■品目別売上高構成比



品目	売上高 (単位:百万円)	構成比
生鮮食品 (青果、精肉、鮮魚、惣菜)	13,815	41.3%
グロッサリ (加工食品、米、酒、日配品)	13,501	40.3%
SM事業 計	27,317	81.6%
第1グループ (日曜大工用品、園芸用品など)	1,411	4.2%
第2グループ (ペット用品、レジャー用品など)	1,535	4.6%
第3グループ (家電製品、インテリア用品など)	1,038	3.1%
第4グループ (家庭・日用雑貨、文具など)	2,177	6.5%
その他 (切花など)	0	0.0%
HC事業 計	6,162	18.4%
売上高合計	33,480	100.0%

*収益認識会計基準を適用しております。

(単位：百万円)

貸借対照表

	前事業年度末 2022年2月28日	当第2四半期 会計期間末 2022年8月31日
資産の部		
流動資産	5,108	6,718
固定資産	11,254	11,048
有形固定資産	6,958	6,755
無形固定資産	217	264
投資その他の資産	4,078	4,028
資産合計	16,363	17,767
負債の部		
流動負債	9,085	9,457
支払手形及び買掛金	5,128	5,369
短期借入金	2,113	2,196
固定負債	4,932	4,737
長期借入金	3,190	3,002
負債合計	14,018	14,195
純資産の部		
株主資本	2,336	3,563
資本金	374	1,523
資本剰余金	282	1,432
利益剰余金	1,679	608
自己株式	△0	△0
新株予約権	8	8
純資産合計	2,344	3,571
負債純資産合計	16,363	17,767

財政状態

資産／当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ14億4千万円増加(8.6%)し、177億67百万円となりました。この主な要因は、第三者割当増資の払込みによる現金及び預金の増加によるものでございます。

負債／負債は、前事業年度末に比べ1億76百万円増加(1.3%)し、141億95百万円となりました。この主な要因は、流動負債「その他」に含まれる契約負債の増加によるものであります。

純資産／純資産は、前事業年度末に比べ12億27百万円増加(52.4%)し、35億71百万円となりました。この主な要因は、第三者割当増資の払込みによる資本金並びに資本剰余金の増加、四半期純損失10億51百万円の計上及び第26期期末配当金の支払額31百万円によるものであります。

(単位：百万円)

損益計算書

	前第2四半期累計期間 2021年3月1日～ 2021年8月31日	当第2四半期累計期間 2022年3月1日～ 2022年8月31日
売上高	37,090	33,480
売上原価	29,182	26,864
売上総利益	7,908	6,615
営業収入	177	191
営業総利益	8,085	6,807
販売費及び一般管理費	8,226	7,877
営業損失(△)	△ 141	△ 1,069
営業外収益	98	74
営業外費用	41	24
経常損失(△)	△ 83	△ 1,019
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税引前四半期純損失(△)	△ 83	△ 1,019
法人税、住民税及び事業税	15	29
法人税等調整額	10	2
四半期純損失(△)	△ 109	△ 1,051

(単位：百万円)

キャッシュ・フロー 計算書

	前第2四半期累計期間 2021年3月1日～ 2021年8月31日	当第2四半期累計期間 2022年3月1日～ 2022年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,123	△ 290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 28	△ 36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 555	1,997
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,707	1,670
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,487	2,547

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億90百万円(前年同四半期に使用した資金は31億23百万円)となりました。これは主に税引前四半期純損失10億19百万円を計上したことに加え、減価償却費2億78百万円及び仕入債務の増加額2億40百万円を計上したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、36百万円(前年同四半期に使用した資金は28百万円)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出21百万円及び有形固定資産の取得による支出15百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、19億97百万円(前年同四半期に使用した資金は5億55百万円)となりました。これは主に、株式発行による収入22億98百万円によるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、25億47百万円となりました。

トピックス

Topics

■入間春日町店にセミセルフレジを導入しました。

9月30日(金)に入間春日町店1階の集合レジをセミセルフレジに入れ替えました。

新型コロナウイルス感染が常態化する中で、店舗に従事する従業員の確保が日々難しくなり、慢性的な人員不足が発生してまいりました。

セミセルフレジを導入することで、少ないレジ人員での対応が可能となり、レジ清算のミスも少なくなります。お客様にはご自身で清算をする手間が発生しますが、感染予防対策にもつながりますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

下期は小型店中心に入間春日町店含め5店舗の入れ替えを予定しております。



会社情報(2022年11月1日現在)

Corporate Data

■会社概要

商号 株式会社スーパーバリュー
本社 〒362-0034
埼玉県上尾市愛宕三丁目1番40号
TEL: 048-778-3222(代) FAX: 048-778-3324
設立 1996年3月18日
創業 1996年7月21日
資本金 15億2,375万円
主たる事業 食品スーパーとホームセンターを併設した複合型小売店舗及び、食品スーパー単独の小売店舗の経営
従業員数 正社員: 399名
契約・嘱託社員、パート及びアルバイト: 1,939名(8時間換算)
※2022年8月31日現在
主要取引銀行 三菱UFJ銀行/三井住友銀行/武蔵野銀行/
埼玉りそな銀行/みずほ銀行/群馬銀行/
足利銀行/商工中金

■役員

代表取締役 執行役員会長 …… 岸 本 七 朗
代表取締役 執行役員社長 …… 岸 本 圭 司
常務取締役 執行役員 …… 中 谷 圭 一
取締役 執行役員 …… 内 田 貴 之
取締役(社外) …… 飯 野 忠 治
取締役(社外) …… 江 口 俊 治
常勤監査役 …… 梶 山 健 二
監査役(社外) …… 小森谷 繁 行
監査役(社外) …… 持 田 良 夫
執行役員 …… 下 司 久 雄
執行役員 …… 相 川 博 史

株式関連情報(2022年8月31日現在)

Stock Information

■株式の状況

発行可能株式総数 …… 21,600,000株
発行済株式総数 …… 8,748,900株
株主数 …… 1,272名

■大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ロピア・ホールディングス	4,515,400	51.62
有限会社ライト経営	2,119,800	24.23
株式会社JMホールディングス	576,400	6.59
スーパーバリュー従業員持株会	218,990	2.50
株式会社サンベルクス	178,200	2.04
個人株主	110,200	1.26
田幡 徹夫	44,400	0.51
株式会社SBI証券	43,673	0.50
株式会社サンベルクスホールディングス	35,700	0.41
飯野 忠	29,700	0.34

※持株比率は、自己株式を除く、発行済み株式の総数に対する所有株式数の割合。

■株主の皆様への配当金について

当社は、将来の事業展望と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対して適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当期(2023年2月期)の配当につきましては、2022年7月15日に発表いたしました「2023年2月期 第1四半期決算短信」に記載いたしましたとおり、期末に1株当たり10円の配当を行う予定としております。

	1株当たり 配当額	配当性向
2019年2月期	19円	—
2020年2月期	5円	—
2021年2月期	10円	10.1%
2022年2月期	5円	—
2023年2月期	10円	(予想)

株主メモ

決算期 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定株主総会 毎年5月開催
株主配当金 毎年2月末日の株主名簿に記録された株主様又は登録質権者にお支払いいたします。
中間配当金 実施する場合には、毎年8月31日の株主名簿に記録された株主様又は登録質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
ホームページURL <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
単元株式数 100株
公告の方法 電子公告の方法により行います(URL: <https://www.supervalue.jp/ir/>)。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
証券コード 3094

【株式に関する住所変更等の
お届出及びご照会について】
証券会社の口座をご利用されている株主様は、住所変更等の届出及びご照会は、三菱UFJ信託銀行ではお手続きができませんので、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社の口座をご利用されていない株主様は、左記の電話照会先までご連絡ください。

■IRサイトのご案内

当社ホームページ内の「企業情報」に、当社の最新IR情報を掲載しております。ぜひご活用ください。

ホームページURL <https://www.supervalue.jp/>

◆お問い合わせは、下記まで◆

株式会社スーパーバリュー

〒362-0034 埼玉県上尾市愛宕三丁目1番40号
バリュープラザ上尾愛宕店2階
TEL: 048-778-3222(代) E-mail: ir@supervalue.co.jp